

令和2年度第1回安城市総合交通会議 議事録

1 日時

令和2年6月19日（金）午後1時30分～

2 場所

安城市役所 第10会議室

3 出席委員

19名

4 会議内容

1 あいさつ

2 令和2年度安城市総合交通会議年間スケジュールについて

3 議題

生活交通確保維持改善計画について

4 報告事項

(1) あんくるバス・あんくるタクシー等の利用状況について

(2) 令和元年度事業報告・決算について

(3) 安城市地域公共交通調査業務等について

ア 令和元年度地域公共交通調査業務の結果について

イ 令和2年度地域公共交通利便性向上検討業務について

(4) あんくるバス東部線「安城自動車学校」バス停名称変更について

(5) 第2次安城市エコサイクルシティ計画について

5 地域公共交通活性化再生法の改正について（愛知運輸支局）

■委員からの主な指摘事項と対応について

令和2年度安城市総合交通会議年間スケジュールについて

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<ul style="list-style-type: none"> ● 質問等なし 	

議題 生活交通確保維持改善計画について

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<p><愛知運輸支局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 資料の中で先に岡崎安城線を説明した上で、フィーダー系統の説明をした方がスムーズだと思います。 <p>また、法改正に伴い、地域間幹線系統に関して明確な位置づけをしないと、補助対象外になるという方針になりそうなので、しっかりとした事業計画の作成をお願いしたいと思います。</p>	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 相談させていただきながら、整理します。

報告(1) あんくるバス・あんくるタクシーの利用状況について

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<p><名鉄バス></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現在のバス利用状況について、説明させていただきますと、安城線及び岡崎安城線の利用人数は、コロナ禍の影響で3月から減少し、4月は前年比の50%台まで落ち込み、5月は40%台まで落ち込んでいます。 <p>また、愛知県独自の緊急事態宣言が発令されてからは、路線全体の利用人数は、前年比の30%台まで落ち込んでいます。その後、6月に入ってから徐々にではありますが、利用者は戻ってきてはいますが、それでも路線全体は前年比の60%程、安城線及び岡崎安城線については80%程です。</p> <p>次にコロナ対策について、説明させていただきますと、4月下旬からお客様と密にならないように運転席横にカバーを設置したり、循環バスについては、最前列の座席を使用できないようにロープでくくったりしています。</p> <p>また、運行終了後に車両の消毒を実施したり、運転手の消毒を徹底するような対策も実施しています。</p> <p>まだまだ厳しい状況であるということをご報告させていただきました。</p>	

報告(2) 令和元年度事業報告・決算について

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<ul style="list-style-type: none"> ● 質問等なし 	

報告(3) 安城市地域公共交通調査業務等について

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<p><商工会議所></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市民アンケートの調査結果の中で、公共共通全体の満足度の定義が分かりにくいので、どうなったから目標達成で、どうなったから未達成なのか、分かりやすく説明していただきたいと思います。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 不満割合は現況値未満が目標値であります。今回は、明祥中学校区及び安城西中学校区の不満割合が他学区より多いため、そこを重点的にまとめさせていただきました。 なお、令和4年が計画の最終評価になりますので、そこで、分かりやすく整理します。
<p><愛知運輸支局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市民アンケートの調査結果の中で、運行本数に対する不満割合が高いが、クロス集計や各路線の沿線単位で分析することにより、もっと違った理由（時間帯、目的地等）も出てくるのではないかと思います。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市民アンケートの中で、自由意見にしているところがありますので、似たような意見については代表的な意見として纏めています。 今後は、クロス集計等、様々な分析方法も検討していきたいと思います。
<p><市民代表></p> <ul style="list-style-type: none"> ● あんくるバスを知らない、バスそのものに興味がないという方がまだまだいるので、このような方々に、もっとバスを知ってもらえるような良い方法を考えていただきたいと思います。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 様々な方法でアピールしていきたいと思います。
<p><市民代表></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 乗り継ぎに対する不満が多いので、乗り継ぎしても料金が100円で済むとなれば不満が減り、利用者が増えるのではないかと思います。 しかし、どうしても料金の改定が難しいのであれば、もっと定期券を進める案内があっても良いかと思っています。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 様々な方法でアピールしていきたいと思います。
<p><町内会連絡協議会></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 安城西中学校区の不満が多いのは、運行本数が少ないという意見以外に、何か原因があれば教えていただけませんか。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 安城西中学校区や明祥中学校区は、鉄道が近くにないことが大きな要因であり、バスに対する期待が大きいのではないかと思います。
<p><市民代表></p> <ul style="list-style-type: none"> ● バスの多言語対応は、どうなっているのか教えていただけませんか。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● コロナ禍の影響で、今後、インバウンド補助金がどうなるか分からない状況ではありますが、現在、バス停看板にローマ字表記をする準備をしているところです。

<p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 今後は、モビリティマネジメントや既存バス路線の評価維持基準を検討していただきたいと思います。 <p>また、今回の調査結果は、様々な意見が出てとても良い結果だと思いますので、もう少し詳細に分析をしていただきたいと思います。</p> <p>なお、来年度以降は、アンケート調査だけでなく、地域の方々とコミュニケーションをとり、直接意見を聞くようなことも検討していただきたいと思います。</p>	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● わかりました。
---	--

報告(4) あんくるバス東部線「安城自動車学校」バス停名称変更について

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 名称変更に伴い、時刻表やマップは全て変更するのですか。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 10月に時刻表やマップは、全て変更する予定をしています。

報告(5) 第2次安城市エコサイクルシティ計画について

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<p><市民代表></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自転車事故のニュースをテレビでよく見ますが、自転車ルールを老人クラブ等に周知するような方法が何かあったら良いと思います。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自転車の乗り方教室は、広報に掲載し案内させていただいています。 <p>今後は、老人クラブ等にも分かりやすく案内できる方法を検討していきたいと思います。</p>
<p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 安城市は、愛知県の中でも非常に自転車の利用が多いので、自転車道の整備だけではなく、安全性の面でも議論していただきたいと思います。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● わかりました。

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<p><愛知運輸支局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 法改正について、高齢者の免許返納や MaaS、IoT 等の IT 系の新技術の導入といった様々な背景があり、今後はどのように事業を進めたいかということ協議会の中で議論し、地域にふさわしい交通を考え、その評価についても協議会の中で諮ることになっています。 <p>また、地域公共交通計画に対しては、活性化再生法の計画に基づき、要件が合致している事業であれば、国がしっかりと補助金を出すという考えであります。</p> <p>今後、地域公共交通計画の作成については、市町村ベースで 524 件（2019 年 7 月時点）のところを、2024 年度には全国で 1200 件にするために、国としてサポートする体制をとっていきたいと考えています。</p>	